

NEWS

教職員の図書館利用者票が「IC 職員証」に変わりました 2009/11/26~

IC職員証をお持ちでない方は、今すぐ申請をお願いします

→ Web申請はこちら <https://ic-card.kyushu-u.ac.jp/>

* 顔写真の画像ファイルが必要です

派遣職員等の方は、SSO-KIDおよびパーソナルカードの申請をお願いします

→ 所属の総務担当係に申請してください

詳しくは <http://card.kyushu-u.ac.jp/shinsei/shinki.html>



筑紫図書館に常設展「九大筑紫キャンパスの歴史散歩」登場

筑紫図書館では、10月より、「九大筑紫キャンパスの歴史散歩」と題した常設展示を行っています。1987年から1998年まで行われた筑紫キャンパス敷地内の発掘調査の成果の一部を紹介したもので、発掘された弥生式土器のレプリカの展示のほか、古代において同キャンパスが歴史的にどのような地域であったかをパネルで解説しています。筑紫地区にお越しの際は、ぜひご覧ください。



貴重文物講習会のご案内

附属図書館では、九州大学所蔵の貴重資料について認識を深めるため、「貴重文物講習会」を開催しています。ご興味のある教職員、学生のみならず、ぜひご参加ください。

※問い合わせは下記担当までお願いします。

担当: 附属図書館資料整備室 図書目録係
Tel: 092-642-3933
E-Mail: db@lib.kyushu-u.ac.jp

1~3月開催の貴重文物講習会

- 第28回 2010.1.29(金) 15:00~16:30 (中央図書館新館4階 会議室にて)
「九大所蔵漢籍の特徴と保存・整理の問題」
竹村 則行(人文科学研究院教授)
- 第29回 2010.2.19(金) 15:00~16:30 (中央図書館新館4階 会議室にて)
「九大の考古学資料について」
宮本 一夫(人文科学研究院教授)
- 第30回 2010.3.19(金) 15:00~16:30 (中央図書館新館4階 視聴覚ホールにて)
「経済学部所蔵の17~18世紀欧州経済学関連文献について」
関 源太郎(経済学研究大学院教授)

九州大学デジタルコレクションの紹介①

日本文学研究に 日本古典籍画像データベース

リニューアルして内容充実 図書館ウェブサイト 検索ツール 学内コンテンツ 日本古典籍画像データベース http://mars.lib.kyushu-u.ac.jp/infolib/meta_pub/G000002rare2

九州大学が所蔵する日本古典籍を画像化して公開しています。「日本古典文学大系」などの活字本のページ数から、対応する画像を検索できます。これまで別々のインタフェースで公開していたものを統合し、内容が充実しました。

【対応ページ検索ができるタイトル】

蜻蛉日記、枕草子、宇津保物語、源氏物語、大鏡、水鏡、栄花物語、太平記、古今和歌集遠鏡 さらに追加予定

検索条件: 書名(大平記) and 活字本の巻数(2) and 活字本のページ(125)
該当件数: 5件(1~5件目)

No.	ID	活字本の巻数	活字本のページ
1	太平記_生活字本_16.000	//2 //123 / 124 / 125	
2	太平記_古活字本_16.004	//2 //125 / 126	
3	太平記_慶應文庫本_16.004	//2 //123 / 124 / 125	
4	太平記_慶應文庫本_16.005	//2 //125	
5	太平記_慶應文庫本_16.006	//2 //125 / 126	

活字本のページ数を入力

MyLibrary

きゅうとMyLibraryが新しくなりました!

他キャンパスからの図書の取寄、予約、貸出期間の延長、文献複写の依頼などが自宅からでもインターネットでできる「きゅうとMyLibrary」サービス。2009年12月にリニューアルしました。新機能も登場です!

● 全学共通IDでログイン!

教職員: SSO-KID/パスワード

情報統括本部が発行する九州大学全学共通ID

学 生: 学生ID/パスワード

教育情報サービス (iMac、履修登録等) を利用する時のID

※非正課生(聴講生、研究生など)の方は、2010年3月までは従来の図書館利用者票に記載されたIDをご利用ください。2010年4月~学生IDとなります。

● Myポータル



開館時間、返却期限日などを知らせてくれるMyカレンダー

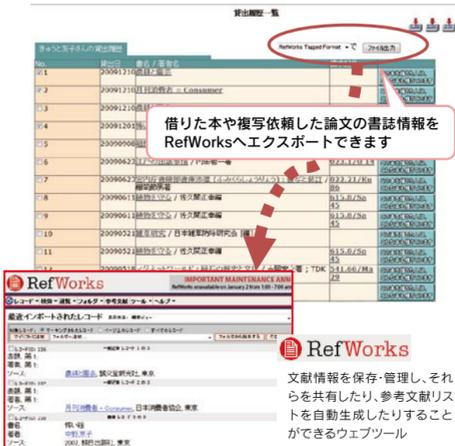
● きゅうとOPACも変わりました



予約・取寄はここから!

きゅうとOPACの検索結果も RefWorksへエクスポートできます!

● RefWorksへエクスポート!



借りた本や複写依頼した論文の書誌情報をRefWorksへエクスポートできます

RefWorks

文献情報を保存・管理し、それらを共有したり、参考文献リストを自動生成したりすることができるウェブツール

● 2010年春予定

- ・図書館のグループ学習室などのWeb予約
- ・モバイル版 きゅうとMyLibrary

お問合せ: 附属図書館eリソースサポート窓口
Tel: 092-642-2336 E-Mail: esupport@lib.kyushu-u.ac.jp

図書館員のおしゃべりコラム

なぜ図書館員になったのか、と問われると答えにつまる。無難に「本が好きだから」と答えることが多い。その答えに嘘はないが、本当のところを正確に伝えてはいないような気がする。

文系合同図書室の蔵書数は、ゆうに百万冊を越える。もちろん湿度や湿度の調節など、保存のための対策はとっているのだが、それでも書庫に足を踏み入れると、古い本の匂いが鼻をつく。それは端的に言ってしまえば、ほこりやカビといった、およそ身体には良くないであろうものの匂いである。

それにもかかわらず、書庫の空気を思い切り肺に吸い込むと、心が落ち着く。普段夕/口など吸うことはないが、なるほど喫煙者はこのような心持ちなのであろう、と一入納得する。鼻を鳴らしながら目当ての資料までの道のりを歩き、資料を見つけると名残惜しく書庫を後にする。

近年急に悩まされるようになった鼻炎の原因は、案外ここにこそあるのではないかと感じるのだが、ドクターストップがかかるのも痛なので、病院には行かないようにしている。

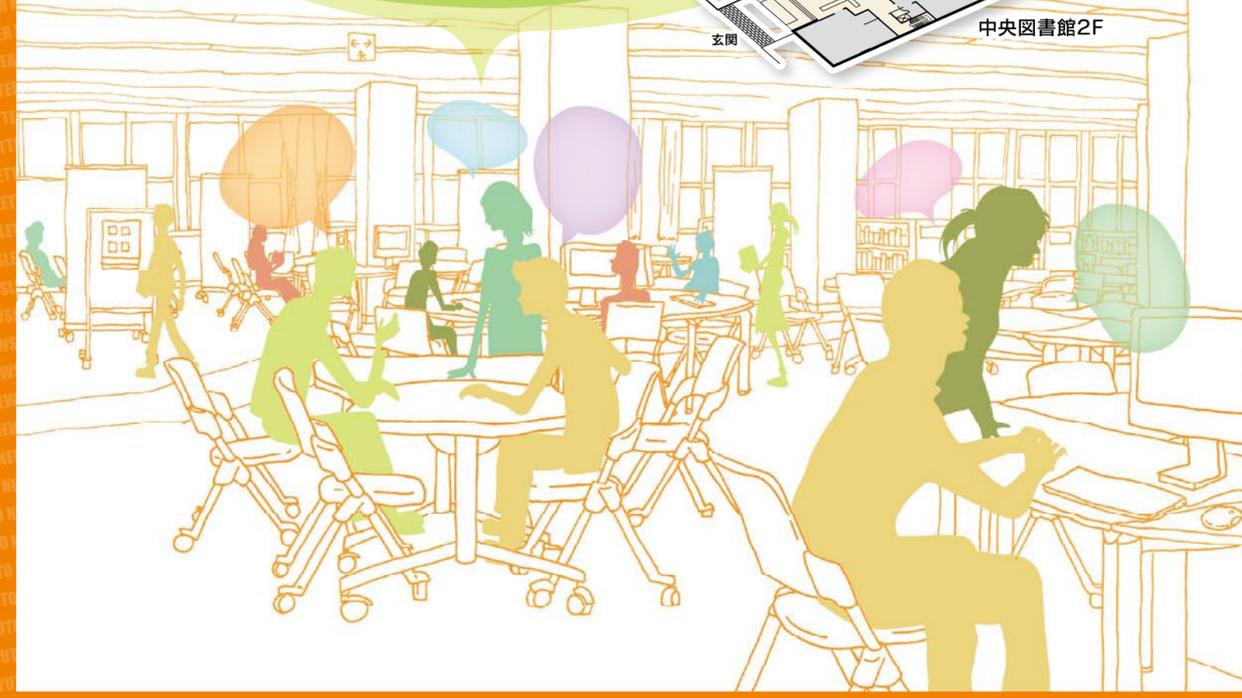
(文系合同図書室 T.O.)



九州大学附属図書館 4 VOL.4 NO.4 2010.1

じゃあ、ちょっと図書館いこっか

中央図書館2Fに、話せて学べるオープンスペースができました。動かせるテーブルやホワイトボードも自由に使用して、グループ学習や打ち合わせなんかにはピッタリです。その話の続き、図書館でどうですか?



発行: 九州大学附属図書館
TEL: 092-642-2533
URL: <http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/>



検索サイトはこちら

CONTENTS

- つなぐ「カラフルで、愉しくて、美味しい、九大図書館!」
統合新領域ユーザー感性学専攻 辻 桂子
- 九州大学デジタルコレクションの紹介①
「日本古典籍画像データベース」
- きゅうとMyLibraryが新しくなりました!
- 図書館員のおしゃべりコラム



カラフルで、愉しくて、美味しい、九大図書館！

統合新領域学府ユーザー感性学専攻 修士1年 辻 桂子

キュートカフェは九図なカフェ。すなわち、九州大学図書館のカフェ、活発でかわいい九州大学図書館のカフェなのです。2009年の10月に友人たちと開催した第1回は「五味太郎さんの絵本展」と五味さんの著書『大人問題』を語り合う「絵本ワークショップ」。そしてハーブティでもなす「絵本カフェ」というコンテンツでした。なぜ、大学図書館に絵本？なぜ、カフェ？なぜ、おしゃべり？なのでしょう。だって、九大の図書館には色がないし、香りがいいし、愉しくないから！ それじゃあ、つまらないでしょう。そう言ったら、「つまらなくてもいいんです、図書館は勉強するところですから」と言われそうですね。でも、勉強できるんだったら、きれいで、愉しくて、美味しいものがあるほうがもったいない



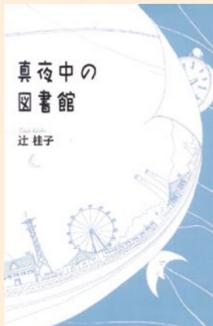
ラーニングcommonsでの「五味太郎さん絵本展」は、こんな感じでした。

でしょうと言うのが私の考えなのです。私は4月にできた統合新領域学府でユーザー感性学感性コミュニケーションを専攻する社会人学生です。利用者にとって、より良い図書館の研究をしています。

私が思うに、九大の図書館でおしゃべりをしないなんてもったいないことです。だって、ここは総合大学です。さまざまな分野の最先端の研究が行われている現場。縦割りの学部や細分化されたゼミでの討論ではなく、みんなが集まる図書館という場所に知識や情報を持ち寄ってダイアログすれば、なにかきつと面白い発見や発明が生まれるような気がします。だからキュートカフェが、そんなきっかけになればいいなと思っているのです。で、せっかく集まるのなら、居心地のいいインテリアと、美味しいものと、楽しい会話の場があるのです。

11月から九大の図書館にもラーニングcommonsというコーナーができました。会話OKと書いてあります。ラーニングcommonsはアメリカでは学生の意見を取り入れて計画され、運営されていて、24時間オープンで、カフェがあり、リラックス(寝転んだり)して学習できる場のような感じです。ここには「学生同士が学ぶことを共有できる雰囲気、会話を交わし議論できるスペース、Eラーニング環境や問題解決のヒントを与えてくれるレファレンス図書館員やアドバイザー、ライティングの指導などが準備されている」(永田治樹/図書館雑誌2009)と、言われています。

九大の図書館もラーニングcommonsをきっかけに、これから変わり始めるに違いありません。私もユーザー感性学を学ぶ一人として、お手伝いできればと考えています。キュートカフェを見かけたら、どうぞお立ち寄りください。



著書『真夜中の図書館』で、コミュニケーション型図書館の理想像を描きました。『真夜中の図書館：図書館を作る：市民・企業・行政』辻桂子著 郁朋社 2006.8 ISBN:9784873023519

資料紹介

オンシェーデ活字鑄造所「活字見本帳」

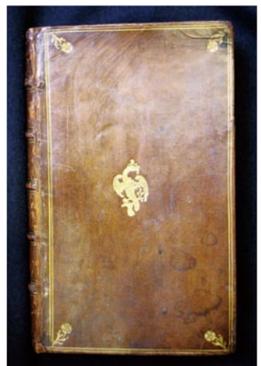
伊原 久裕 芸術工学研究院准教授



1768年にオランダで出版された活字見本帳である本資料は、大型研究資料として平成20年度に購入され、現在芸術工学図書館に所蔵されています。活字見本帳という独特な資料ですので、まずはその点から説明しておきます。

活字見本帳とは、印刷業者、活字製造業者が活字を売るために制作した商品見本帳で、15世紀から存在していました。16世紀頃までは全紙大のシートが主流でしたが、17世紀になると冊子形態の見本帳が登場してきました。シートの見本帳の場合、多くは用済みになると包み紙などに使用され、そのまま廃棄される儚い存在でしたが、冊子の場合には、保管、再利用のためにしっかりと体裁で制作されました。さらには、商売のみならず、贈答品にも使用されることもあったようで、このたび購入された見本帳はまさにそのことを反映していて、革装に金箔という豪華な作りとなっています。活字見本帳は、学術の分野では長らくその資料価値が目立たなかったことから、古書市場では廉価で売買される物品でしたが、第二次大戦後から古書体学や書誌学、書体研究者などのあだでその資料価値が目目され始め、その値段も高騰するようになりました。本資料も希少価値が高いことから高価であり、同一版は公立機関ではオックスフォード大学図書館、オンシェーデ博物館などの少数の施設に所蔵されているのみのようです。

この見本帳の背景と中身について紹介しておきます。見本帳を制作したオンシェーデとは、1703年に操業を始めたオランダの活字鑄造所であり、現在では同国の代表的な総合印刷会社としての地位を築いている歴史ある会社です。オンシェーデが起業した18世紀初頭という時期はちょうどオランダがヨーロッパで



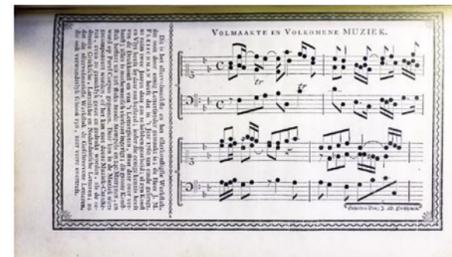
革製本に金箔の豪華な装幀



父型彫り師ヤン・ミハエル・フライシュマンを称える肖像版画



活字制作風景を表した図版



楽譜活字見本

*貴重書につき、閲覧希望の方は芸術工学図書館までお問い合わせください。

自著紹介

本学教員より寄贈いただいた著作です。ぜひ読んでみてください。



芸術工学研究院 教授 脇山 真治

『プレゼンテーションの教科書』(増補版)

ISBN:9784822264604 脇山真治著 日経BP社 2009.8



今日、パソコンを使ったプレゼンテーションが一般的になったとはいえ、多くのビジネスシーンでは企画書や報告書だけを用いて説明したり、解説パネルの横に立って製品説明をすることがあります。まだまだオーソドックスな形式も健在です。本書は2007年に出版した『プレゼンテーションの教科書』に、従来型のプレゼン方法や、模型・小物を使ったプレゼン、さらに「挨拶」の問題等も加筆し「増補版」として構成しました。ビジネスや研究等、あらゆるプレゼンテーションに関わる方の参考になるでしょう。

【中央図書館／芸術工学図書館に所蔵】

法学研究院 教授 藪野 祐三

『失われた政治：政局、政策、そして市民』

ISBN:9784589031846 藪野祐三著 法律文化社 2009.9



日本の政治は、09年8月に行われた総選挙で、初めて政権交代を経験しました。政権が交代することで、自民政権時代に隠されていた無駄遣いや軋並み表面化してきます。しかし政権交代と同時に日本の政治が早急に取り組みなければならぬ課題があります。それは、財政再建です。財政再建は、これはいずれの政権も向き合わなければならない課題です。日本の政治は、経済成長がもたらす「利益の政治」から、経済不況がもたらす「負担の政治」へと変質しています。この過程を分析したのが本書です。

【中央図書館／文系合同図書室に所蔵】

法学研究院 准教授 鶴田 滋

『共有者の共同訴訟の必要性：歴史的・比較法的考察』(九州大学法学叢書；3)

ISBN:9784641135451 鶴田滋著 有斐閣 2009.7



本書は、共有者(たとえばAおよびB)が第三者(C)に対して、ABに帰属する共有権に基づく共有物全体の返還請求権を訴訟上主張する場合などにおいて、ABが共同で訴え提起する必要があるのか、それとも各自による単独の訴え提起が許されるのかという、民法・民事訴訟法が交錯する古典的テーマについて論じたものである。これに関する現在の判例・支配的見解を相対化するために、本書では、母国ドイツの学説・立法・判例が形成された過程と、日本の判例・支配的見解がドイツの議論から影響を受けて形成された過程が明らかにされた。

【中央図書館／文系合同図書室に所蔵】

経済学研究院 教授 堀江 康熙

"Behaviors of Japanese regional financial institutions : the changing business environment : the issues of income disparity and an aged society"

HORIE Yasuhiro Kyushu University Press c2009 ISBN:9784798500010



本書は、地域経済の構造変化と、それに対する地域金融機関の経営行動を検討している。まず、1人当たり所得水準および金融貯蓄の有無について、地域間の格差といった側面から実証的に取り挙げる。それを踏まえて、地域経済と金融活動との関係を解明している。近年は、高齢社会の進行から個人預金が増減傾向を辿るといった大きな環境変化が生じている。これに対して、地域金融機関が店舗・人員配置を含めてどのように取り組んでいるのかを分析していく。

【中央図書館／文系合同図書室に所蔵】

著作を図書館にご寄贈ください

図書館では、本学教員の著書を収集し、利用者に提供するとともに、交流協定校であるソウル大学校との資料交換を行っています。著書を上梓された際は、ぜひ図書館にご寄贈ください。

- 図書館に(1~2部)
- ソウル大学校との資料交換に(1部)

ご寄贈いただける場合は、最寄りの図書館へお届けいただくか、下記担当までご連絡もしくはお送りください。お待ちしております。

担当 附属図書館資料整備室 図書受入係 Tel:092-642-2327 Fax:092-642-2347 E-Mail: tosho1@lib.kyushu-u.ac.jp